

多大ノ犠牲ヲ顧ミス正当防衛ノ爲ニ起サレタル社會  
人道ノ義軍タルヲ認ノ極力之ヲ援助ス

一、我等労働者ハ暴戾ナル日本鑄鋼会社ノ責任  
者ニ警告告ノ飽迄罷工者ノ目的ヲ貫徹セノメ且ツ  
官権ノ不当ナル干渉ニ対シテハ極力之ヲ監視ス

一、萬一此ノ罷工ニシテ満足ナル解決ヲ得サル時ハ吾等労働  
者ハ如何ナル事アルモ日本鑄鋼会社ニテハ労働セス  
又労働階級全般ノ公德ニ訴ヘテ我等ト同一行動ニ  
出ラシムルコトヲ期ス

八月罷工現場横ノ倉庫ニ集マリ飲酒シテ最后ノ別宴ナリ  
徹底的ニ運動スヘシ等ト叫ビ労働歌ヲ高唱シテ引キ  
揚ケタリ其際工場西北隅ノ小暗キ所ニ到ルヤ喊声

ヲ揚ケ瓦礫ヲ投シ工場ノ外場ニニケケ所ヲ破壊セルヲ以テ  
内十六名ノ者ハ所轄署ニ引致セラレタリ。追テ硬派職工  
俵次雄外五名ハ七日全場伍長立花頃吾其他ノ伍長  
ニ對シ辭職勸告セルモ伍長等ハ之ヲ肯セサリント云フ  
中立職工ハ十一日午前八時迄ニ百八名出勤作業ヲ開  
始セリ罷業職工等ハ出勤職工ニ對シ阻止妨害等ノ  
行動ナカリキ朝来協働會ニ約三四十名集合シ對策  
協議ニ耽レリ

尚十日夜鶴岡貞三(解雇職工)岡本利吉(企業立  
憲協働會主幹)兩名相良専務ヲ訪ヒ解雇者百十八  
名ニ對スル解雇手当ノ支給ヲ交渉シタルヲ同専務  
ハ會社方三月廿六日付ノ聲明シタル如ク目下ノ經濟狀